

「沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をなささい」

ルカによる福音書 第5章4節

ある日の朝、漁師であるペトロが徹夜の漁を終えた後、仲間と共に網を洗っていました。しかし徹夜をしたにもかかわらず、その日は一匹も魚が獲れませんでした。漁に失敗した。そのことにペトロの心は空しさで一杯でした。その所に主イエスが来られ、言われます。「**沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をなささい**」。ペトロは戸惑います。この人は漁師である私に何を言うのか。もう日も高い。こんな時に漁をして失敗は取り戻せない。ペトロは自分の経験からそう思いました。しかしそれでも言うのです。「**しかし、お言葉ですから、網を降ろしてみましよう**」。そして実際に漁をしてみると、信じられないほどの大漁となったのです。

人生で失敗はある。そこで挫けてしまい「また失敗するかも」と思い、立ち上がれなくなってしまうかもしれません。しかしその時に思いたい。主イエスがペトロに言われた「**沖に漕ぎ出して網を降ろし、漁をなささい**」というこの言葉は、あなたが失敗に挫け、立ち上がれなくなっているなら、そのあなたにも語り掛けられている言葉です。あなたの側で主イエスが「私と一緒に、もう一度やってみよう」と言って下さる。「大丈夫だ。私が共にいるのだから」。そう言って下さる言葉なのです。主イエスが共にいて下さると知れば、私たちは立ち上がれます。

遠州教会 牧師 石井佑二